

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはありません。

研究課題名	大腸癌穿孔症例での治療成績
研究機関名	金沢医科大学（病院）
研究責任者	金沢医科大学（病院） 一般・消化器外科学 橋本 明史
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023年 12月
対象者	2008年1月から2018年12月までの間に当科で手術加療をした大腸癌穿孔と診断した患者さん13名です。
当該研究の意義・目的	大腸癌穿孔は救命と長期予後を考慮した手術加療を行う必要がありますが、その治療方針は一定の見解が得られていません。本研究は、当院での大腸癌穿孔症例の治療成績を後方視的に検討し、治療成績を明らかにすることで今後の治療方針選択の一助となる情報を得ることを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、2008年1月から2018年12月までの間に当科で手術加療をした大腸癌穿孔患者13名を対象とし、術後の治療成績と予後を評価するために診療録から、年齢、性別、合併症、原発部位、ステージ、検査データ、手術記録などを後方視的に情報収集し、統計解析はStat Flex ver6.0.を使用し全生存期間、疾患特異的生存期間、ステージ別生存期間などについて検討します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
研究参加・不参加による負担・リスク・利益	本研究に参加することによる患者さんの経済的負担や身体的なリスクはありません。報酬等もありません。本研究に参加しないこともできますし、一旦研究への参加に同意された場合でもいつでもこれを撤回することができます。その場合でも、いかなる不利益もありません。
研究成果の公表	本研究の成果は学会や学術雑誌などで公表されることがあります。
個人情報の保護	個人情報は符号等を附番して匿名化され、符号と個人を結びつける対応表は作成しません。解析するときは誰の情報かわからない状態で解析します。
データの保管期間	研究用で用いたあなたのデータは匿名化され、研究全体の終了日から5年の間に新しい研究（同データを基としたサブグループ解析など）が計画された場合、新たに倫理委員会に申請し審議を経たうえで、本研究のデータを使った研究を実施します。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学（病院） 一般・消化器外科学 橋本 昭史 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（3127）

作成日： 2020年1月4日